

第1号様式(第10条関係)

令和6年4月10日

沖縄県議会議長 殿

会 派 名 維新・無所属の会

代表者名 當間 盛夫



令和5年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和5年度 政務活動費収支報告書

会派名 維新・無所属の会

1 収 入 政務活動費 2,900,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	197,626	交通 / 宿泊費
研 修 費		
広 聴 広 報 費	500,000	議会報告書作成費
要 請 陳 情 等 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	165,774	新聞購読料
事 務 費	220,562	コピー機リース・保守サービス料 / NHK受信料 通信連絡費 / 消耗・備品費
人 件 費	1,734,126	職員給与 / 賞与 / 労働保険料
合 計	2,818,088	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 81,912 円

統一様式―①

経費区分別支出一覧表

経費区分 調査研究費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
9/1	東京都:交通/宿泊費 那覇～羽田 大城議員 當間議員	179,800	全額	179,800
10/20	久米島町:交通費 那覇～久米島 當間議員	17,826	全額	17,826
A. 小計				197,626
B. (ガソリン代総額		—	) × 1/2	
C. 支払証明書計				
調査研究費 充当合計(A+B+C)				197,626

参考様式一①

経費区分(調査研究費)

- ・交通/宿泊費(那覇～羽田)
- ・用務日程:令和5年9月14日(木)～15日(金)
- ・場 所:東京都
- ・用務内容:別紙視察調査報告書の通り
- ・充当割合:10/10(説明:政務活動視察調査に利用の為)
- ・領収書:別紙の通り

※ご入力は日本語、もしくは英語にてお願いいたします。
日本語・英語以外の言語で入力された場合、プレビュー画面上では正しく表示されている場合でも、PDF作成時に文字化けしてしまう文字
がございます。

経費区分（調査研究費）

エアトリ

登録番号：T6010401072978

領収書

国内航空券+ホテル (募集型企画旅行商品)

無所属の会 様

株式会社エアトリ

〒105-6219

東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズ21F

【取引担当】

エアトリ国内航空券+ホテルカスタマーセンター

TEL:0570-550-045 08:00~20:00(年中無休)

領収金額 ￥179,800 -

10%対象 ￥163,455- (消費税額 ￥16,345 -)

但 募集型企画旅行代として

予約番号	7293974
領収日/領収金額	2023/09/01 クレジットカード決済 ￥179,800
商品名	<那覇→羽田 / 羽田→那覇> & <アバホテル(蒲田駅東)> 1泊
ご旅程	搭乗者名 TOUMA / MORIO OOSHIRO / NORIYUKI ご予約航空券 行き 航空会社 予約番号 0922 航空会社 確認番号 00 搭乗便: SKY514便 たす得 那覇 10:25 → 羽田 12:55 ※共同運航便/運航: スカイマーク 帰り 航空会社 予約番号 0972 航空会社 確認番号 00 搭乗便: SKY523便 普通運賃 羽田 18:20 → 那覇 20:55 ※共同運航便/運航: スカイマーク 施設名 アバホテル(蒲田駅東) 予約プラン名 スタンダード シングルルーム 禁煙 宿泊施設 予約番号 9143667609753 (確認番号: 78742854, 78742855) チェックイン 2023/09/14 チェックアウト 2023/09/15

視察調査報告書

経費区分	視察調査費			
年 月 日	令和5年9月14日(木)～15日(金)			
場 所	東京都立産業貿易センター(浜松町館2～5F)			
相 手 方	第8回オーガニックライフスタイルEXPO2023			
目 的	国の進める有機農業推進、本県の取組みは遅れている。今回農水省も後援する催しにおいて有機農業や関連産業、自治体の取組みを学んだ。			
日程概要	月 日(曜日)	時 間	場 所	内 容
	9月14日(木)	10:25～12:55	那覇～羽田	移動
	9月14日(木)	14:30～18:00	2F～5F 展示場	有機農業・関連産業・自治体取組み展示
	9月15日(金)	10:30～11:30	4F 第2会議室	環境対策農法についてのセミナー
	9月15日(金)	13:00～14:00	4F 第2会議室	先進自治体の事例報告とシンポジウム
	9月15日(金)	18:20～20:55	羽田～那覇	移動
内 容	1.有機農業に各地で取組む生産者を中心に、その加工販売を行う企業、有機にこだわった衣類やコスメから建築、農業と福祉やエネルギーの連携等、多くの展示報告があった。 2.世界で広がる耕さない農業を中心に様々な視点から環境に配慮した農法について、福島大学の金子教授の講演から始まりソーラー発電との連携等の事例紹介もあった。 3.農水省の環境対策課松本課長より国の取組みの説明の後、自治体として有機農業推進に取組む千葉県木更津市の渡辺市長、京都府亀岡市の桂川市長、兵庫県丹波篠山市の酒井市長から先進事例報告と意見交換があった。			
成果及び所見	1.個人農家・企業・市町村・県等がオーガニックにこだわった様々な分野の農畜産物や関連商品取組みをアピールするブースが200以上あったが、沖縄からはオーガニック産地育成協議会による県産バナナ組合1件のみの出展だった。しかし、沖縄産や由来のある農産物を扱う企業や沖縄との連携を模索する企業団体は多くあり、県の取組みによる可能性は大きいと感じた。また、他道府県で畜産に関する取組みが増加しているが、本県の事例が皆無である状況は県の取組み強化が必要である。 2.肥料を入れて土をよく耕す事により肥沃な良い畑になり、雑草を押さえ作業効率が良くなると考えてきたが、金子教授によると耕す事により土中生物の連鎖を破壊し畑・植物・周辺環境に悪いという。耕さない農法は土中生物の連鎖により全てに良い栽培法であり、実際に福島大学での実験やインドネシアにおける5年にわたるさとうきび栽培試験による数値はそれを証明するものであった。 また、千葉県で大豆や麦をソーラー発電との組み合わせで栽培し耕さない農法にも取組む市民エネルギー千葉の東代表もその成果を高く評価した。亜熱帯で福島や千葉とは環境の違う本県ではこれから調査研究が必要であるが、非常に興味深い農法である。 3.国は令和4年より有機農業を推奨する市町村に対し、推進計画を作成しオーガニックビレッジ宣言を行う自治体に対し補助金を交付し支援する事業を行っており、その数は国の想定より速いペースで増えて42道府県91市町村になった。残念ながら本県の取組み事例は無く展示場でもシンポジウムでも寂しい想いであった。先進自治体3市長の事例発表では、国の補助金を活用した農家支援や様々な取組みが紹介されたが、やはり印象的だったのは首長としての想いであり、木更津市長「人の繋がりの切れた地域でオーガニックは循環であり正に繋がり、人づくり地域づくりの為に進める」や亀岡市長の「オーガニックに取組むキーワードは子どもや給食であり、選挙に向けた無償化より大事なことだ」などは政治家の信念を感じた。			
備 考	大城 憲幸			

視察調査報告書

経費区分	視察調査費			
年 月 日	令和5年9月14日(木)～15日(金)			
場 所	東京都立産業貿易センター			
相 手 方	第8回オーガニックライフスタイルEXPO2023			
目 的	国の有機農業推進、関連産業や自治体の取組み			
日程概要	月 日(曜日)	時 間	場 所	内 容
	9月14日(木)	10:25～12:55	那覇～羽田	移動
	9月14日(木)	14:30～18:00	東京都立産業貿易センター展示場	有機農業・ソーラーや住宅等 関連産業・自治体の取組み 展示視察
	9月15日(金)	18:20～20:55	羽田～那覇	移動
内容	・有機農業を各地で取組む生産者を中心に加工販売を行う事業者、有機にこだわった食品、衣類、コスメから住宅建築や営農型ソーラーシェアリング、農業と福祉等多くの展示報告、販売、商談等があった。			
成果及び所見	・沖縄県からは県産バナナ組合、オーガニック産地育成協議会の1団体のみの出展は残念であった。 ・昨今の健康志向でオーガニック、有機にこだわった様々な分野の取組は沖縄産や由来ある農産物、畜産など沖縄県の取組みによる他県との差別化の可能性は大きい。しかし、県の取組みが皆無であることは残念ではあるが、強化すべき必要がある。 ・営農型ソーラーシェアリングは、エネルギーとの連携、農業促進していく取組みの重要性を感じた。			
備 考	當間 盛夫			

参考様式一①

経費区分(調査研究費)

- ・交通費(那覇～久米島)
- ・用務日程:令和5年10月30日(月)
- ・場 所:久米島町
- ・用務内容:別紙視察調査報告書の通り
- ・充当割合:10/10(説明:政務活動 視察調査に利用の為)
- ・領 収 書 :別紙の通り

経費区分（調査研究費）



Web 013d391e81cf5894e5d725917b5eea71
2023年11月07日 10:51発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

當間 盛夫 様

金額 17,826円（税込み）

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312478875470
航空券/料金券発行日	2023年10月20日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

トウマ モリオ 様

2023年10月30日（月）	運賃：往復セイバー
○ 09:50 沖縄（那覇）	クラス：普通席
↓	便名：RAC873
○ 10:25 久米島	

17,826 円

2023年10月30日（月）	運賃：往復セイバー
○ 16:45 久米島	クラス：普通席
↓	便名：RAC880
○ 17:20 沖縄（那覇）	

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額 17,826円

視察調査報告書

経費区分	視察調査費			
年 月 日	令和5年10月30日(月)			
場 所	久米島町			
相 手 方	久米島町 仲村副町長 喜久里議員 他担当者			
目 的	松くい虫の被害状況と対策			
日程概要	月 日(曜日)	時 間	場 所	内 容
	10月30日(月)	9:50～10:25	那覇～久米島	移動
	"	10:40～12:00	久米島町役場	松くい虫 担当者説明
	"	16:45～17:20	久米島～那覇	移動
内 容	・国の天然記念物「五枝の松」で有名な久米島町で2年前から「松くい虫」の被害が爆発的に拡大。 ・県としても森林管理課を中心に対策を講じてきたが追いついていない状況である。被害状況と町担当者との対策について意見交換する。			
成果及び所見	・県道沿いの松は伐倒することで被害拡大を防止、樹幹注入予防等を道路管理課(南部土木事務所)が行っている。 ・「五枝の松」は町が予算をかけ、予防、樹幹注入等を行ったが国の天然記念物でありながら、国も県も予算設置なし、県の担当者と予算対策を行う。			
備 考	當間 盛夫			

統一様式-①

經費區分別支出一覽表

經費区分	広聴広報費
------	-------

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
3/29	議会報告書作成費	2,006,543	その他	500,000
A. 小計				500,000
B. 支払証明書計				
広聴広報費 充当合計		/	/	500,000

領 収 証

No 000953

赤嶺 昇

様

令和6年3月29日

金 額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
¥	2	0	0	6	5	4	3	

但し、議会報告書作成代金として 上記の金額を領収致しました

内訳

10%	金額	消費税
8%	金額	消費税



いんさつ、まごころがテーマです。

株式会社 尚生堂

本社 / 〒901-2114 沖縄県浦添市安波瀬1-6-3
TEL (098)876-2232 FAX (098)876-2332

登録番号 T5360001008860



捺 著 印

支払額 ￥2,006,543

充当割合 69.8% 広報紙充当割合確認票にて算出

充当上限額 ￥1,400,567

充当額 会派分から ￥500,000 議員分から ￥900,567

広報紙充当可能割合確認票

議員名

赤嶺 昇

広報紙名	紙面割合
赤嶺ノボル 県議会報告書	●全体面積: $40.5\text{cm} \times 27.3\text{cm} \times 4\text{面} = 4422.6\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 1335.1cm^2 ① $18.5\text{cm} \times 12.4\text{cm} = 229.4\text{cm}^2$ ② $40.5\text{cm} \times 27.3\text{cm} = 1105.7\text{cm}^2$ ●充当可能割合: $1 - (1335.1\text{cm}^2 / 4422.6\text{cm}^2) = 0.6981 \approx 69.8/100$以下



沖縄県議会議長 赤嶺ノボル 県議会報告書



Speaker Okinawa Prefectural Assembly Japan

Noboru Akamine

沖縄県議会第13期最終定例会議長挨拶要旨

今議会は、私どもにとりまして任期最後の定例会となりますので、本日の会議を閉じるに当たり一言御挨拶申し上げます。

令和2年6月、百年に一度と言われる新型コロナウイルス感染症の拡大による行動制限が行われる中、第13期の任期がスタートいたしました。様々な情報が流れ、多くの国や地域で大規模な人的被害や社会経済への影響をもたらした、本県経済や県民生活も大きな渦に巻き込まれていきました。

これまでに経験したことのない激動の時期に、県議会は二元代表制の一翼を担う県民意思を代表する機関として、任期中、16回の定例会に加え、合計10回の臨時会において、新型コロナウイルス感染症対策や各種経済対策等に関する多くの補正予算案や議案審議に取り組み、県民生活を支えてまいりました。

同時に、コロナ禍において大きな打撃を受けた本県の基幹産業である観光関連産業を支えるため「新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光産業の再興に関する条例」を議員提出案として制定するなど、執行部に対して政策提言を行うとともに、頻発する米軍関係の事件・事故等に対して時宜に応じて意見書等を沖縄県議会の総意として議決し関係要路へ要請を行うなど、県民の負担に応えるべく積極的に活動を展開してまいりました。

また、県議会としても強く要望していた沖縄振興特別措置法の延長は大きな成果でありました。同法の延長に伴う新たな沖縄振興計画の策定に向け、任期開始当初から「新沖縄振興・公共交通ネットワーク特別委員会」を設置し、様々な観点から議論を交わし、令和4年6月「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」が策定されました。

同年は、沖縄の本土復帰50年を迎えた大きな節目の年であり、県議会において「沖縄の諸課題を解決し、真に平和で豊かな沖縄県を目指す本土復帰50年に関する意見書」及び「同決議」を全会一致で採決し、岸田首相をはじめ全閣僚に要請活動を行うなど、県民の思いを強く発信いたしました。

そのほか、県内においては、「復帰50周年記念式典」、「『美ら島おきなわ文化祭2022』」、「第7回世界のウチナーンチュ大会」、「FIBAワールドカップ」沖縄開催など、明るいニュースも多くありました。中でも「美ら島おきなわ文化祭2022」に併せて即位後初めて沖縄を訪問された天皇皇后両陛下に随伴したことは大変印象深く、両陛下の温かい言葉やお心遣いは多くの県民にとって大きな喜びや励みとなりました。また、ウチナーンチュ大会の滞り来沖したデービッド・Y・イゲ、ハワイ州知事をお招きして本会議場でスピーチをいただいたことは、沖縄とハワイ、世界のウチナーンチュにとって大変意義深いものでありました。

一方、県議会におきましては、インターネットやSNSを活用した議会情報の発信や高校等出前講座等、開かれた県議会を実現するための議会改革に積極的に取り組んでまいりました。今後このような活動を継続することにより、より多くの県民に開かれた沖縄県議会であり続けることを望みます。

コロナ禍を乗り越え、社会経済活動は従来の姿を取り戻しつつありますが、近年の不安定な世界情勢や、電気・ガス・食料品等の物価高騰等の影響を受け、県経済及び県民生活は未だ厳しい状況にあります。また、普天間飛行場の周辺部域に於ける米軍基地問題や、民間施設周辺部域に於ける中国公船の領海侵入、北朝鮮のミサイル発射による「アラート」作動等、県民生活を脅かす外的要因による諸問題、さらに子ども就労問題など、県政の課題は山積しておりますが、県民一人一人が幸せを実感でき、真に平和で豊かな沖縄県の実現に努めることが私どもに課せられた重大な責務であることを深く認識し、県民の負担に応えられるよう最後まで努力をしてまいりたいと存じます。

なお、今任期を最後に勇退される方々には、まことに惜別の念を禁じ得ませんが、在任中の御活躍と御功績に対し深甚なる敬意と謝意を表するとともに、今後とも御自らの志、県民発展のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、次期選挙に立候補される方々には、見事当選の栄に浴され、再びこの議場で相まみえ、本県の直面する諸課題の解決に向けて御活躍されますよう御祈念申し上げます。

ここに、任期最後の定例会を閉じるに当たり、議員各位の御健康と御多幸を心から念ずるとともに、議員各位と全ての議会事務局職員の御協力と御支援により、大過なく議長としての職責を果たすことができたことに改めて心から感謝申し上げます。

まことにありがとうございます。

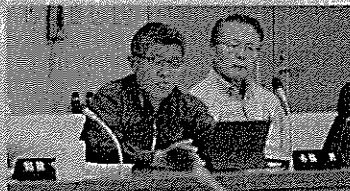
沖縄県議会議長 赤嶺 昇

赤嶺昇は、水道料金3割値上げに反対しました。

玉城県政 水道料金3割値上げ!!

【電気・ガス・食料品等の物価高騰に続き、県民生活大打撃】

土木環境常任委員会で水道料金値上げに反対をしましたが、委員会と本会議で玉城県政与党の賛成多数となり、水道料金値上げの議案が可決されました。



記者のメモ

身を切る改革 県に要求

○…国政に挑戦するため県議勇退を表明している赤嶺昇県議会議長。最後の定例会一般質問では、議長席を照屋守之副議長に譲り、質疑者へ回った。水道料金引き上げを巡り、新年度から現在の県総務部長が企業局長に就任することに「県職員の退職金をもらった後、企業局でも退職金をもらうのは二重取りだ」と指摘。「自分たちはいい思いをして、県民に料金引き上げをお願いするのは理解されない」とし、所属する日本維新の会が掲げる「身を切る改革」を執行部にも求めている。

2024年3月13日 沖縄タイムス

議長報酬から各種寄付

能登半島地震で石川県へ議長報酬から500,000円寄付をさせて頂きました。

国境なき医師団へ議長報酬から500,000円寄付をさせて頂きました。

ハワイ州マウイ島山火災害へ議長報酬から200,000円寄付をさせて頂きました。

記者のメモ

議長報酬2割 義援金に

○…米ハワイ州マウイ島で発生した山火災害の見舞金をハワイ沖縄連合会のクラリス小橋川会長に贈呈した赤嶺昇県議会議長。議長報酬の約20%に当たる20万円を贈呈し、小橋川氏は「ハワイのウチナーンチュに心を寄せていただき感謝している」と受け取った。県議会では2022年に県系3世のデービッド・イゲ米ハワイ州知事が議場でスピーチしたこともあり「ハワイの皆さんとはこれまでになく近い存在だと感じている」と赤嶺氏。被災地の日も早い復興を祈っていた。

2023年10月20日 沖縄タイムス



赤嶺ノボル 決意

沖縄県民の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご高配を賜り深く感謝申し上げます。

私は、日本維新の会所属の県議会議員で近く国政を目指す赤嶺ノボルと申します。

令和2年の沖縄県議会議員選挙、浦添選挙区において5期目の負託を頂き、現在は、県議会議長を拝命しております。

私は、昭和42年に「ブラジル・サンパウロ」で生まれ、昭和54年に家族で両親の故郷である沖縄県浦添市に引き揚げてきました。当初は、日本語が話せず、3歳年下の同級生とともに浦添市立牧港小学校で学び、その後、市立港川中学校、県立浦添工業高等学校、日本工学院専門学校を卒業致しました。

卒業後は、コンピュータ会社で働くごく普通のサラリーマンでした。日本に来て一番驚いたことは、日本の教育制度です。

特に小中学校の義務教育制度は、すべての児童生徒が、平等に教育を受けることができることと、みなで同じ学校給食を食べることができる優れたシステムです。

外国では必ずしも当たり前のことではありません。

小さな国でありながら日本が戦後の厳しい状況から経済発展を成し遂げたのは、教育（人財育成）に力を入れたことが大きな要因だと思います。

私は、27歳で妻（昌枝）と結婚し、子育てをしながら浦添市において青年会活動をする中で地域活動の大切さを学び、浦添市に育てられました。青年会活動を積極的に関わり組む中で沖縄県のさまざまな課題がなかなか解決されないこと等、社会情勢に興味を持つようになる一方で、若者の政治への無関心に危機感を抱き、青年の仲間たちと素人の手づくり選挙により29歳で浦添市議に初当選をさせて頂きました。

浦添市議2期7年を経て平成16年に36歳で沖縄県議会に初当選をさせて頂きました。

県議会では、主に児童福祉（子どもの貧困対策）、待機児童解消、学童保育の充実、高齢者福祉の向上、障がい児・者福祉の向上、県立病院の充実、失業率対策、県民所得の向上、地元沖縄企業・下請け企業優先発注・支援育成、土木建築業界の活性化、浦添市ヘモノレールの延伸等に取り組んでいます。

一昨年5月15日沖縄県は、日本に復帰して50年の節目を迎えましたが、52年が経過しても全国の米軍専用施設の70%以上が集中している状況は放置され、米軍基地を起因とするさまざまな事件や事故が派生し続けています。

私は、日本の国益のために日米安全保障を支持する立場ですが、沖縄県民への過重な基地負担を軽減していく必要があると考えています。

特に普天間飛行場は、世界一危険な基地と言われており、米軍のヘリコプターの墜落が小学校に落下する等、あっては、ならない事故が続いています。

このような異常状態を一刻も早く解決し、宜野湾市民の安心・安全な生活基盤を築くことは、政治の責任です。

普天間飛行場代替施設の辺野古では埋め立てが進み、県と国の訴訟で最高裁判決が出た現状に鑑み、普天間飛行場の一日も早い返還と危険性の除去、跡地利用を最優先に取り組んでいます。

さらに、浦添市にあるキャンピングカーの早期返還と跡地利用も併せて全力で取り組んでいます。

沖縄県は、米軍基地問題だけでなく、多くの課題を抱えています。

日本復帰以降、5次にわたる振興計画や高率補助、各種の特別措置により社会資本、産業基盤は着実に整備されてきましたが、一方で、県民所得が全国最下位、子どもの4人に1人が貧困状態で、子どもの貧困率が全国平均の約2倍に及ぶワースト県です。

復帰52年が経過してもこうした課題が解決されないのは、これまでの沖縄の政治が一部の業界団体に手厚い支援をする一方で、子どもや高齢者、県民への投資の欠如があったと言っても過言ではありません。

長年続いてきた現在の沖縄の政治状況と、地方自治の仕組みでは、沖縄の抱える根本的な問題は解決できないと考えております。

さらに、統治権及び財源が国の中枢機関に集中している現在の中央集権体制は、東京一極集中による地方の疲弊と地域間格差の拡大を招き、日本を衰退させる大きな要因になっています。

日本維新の会は、日本の抱える急激な少子高齢化、地方の過疎化に対応するためには、道州制への移行を目指す改革、国事務の道州への移譲、国及び地方公共団体の税財源制度等の見直しを推進することを党の最重要政策に位置付けています。

沖縄県は、これまでの経緯と課題を踏まえると国依存の政策や振興策より、国からの自治権限移譲により「沖縄県を単独自治州」とし、県民が自らの責任と主体性を果たすことで沖縄の未来を切り開く必要があると考えます。

沖縄の先人たちが世界各国に移住し確固たる地位を築いたように、今を生きる現役世代が自らの足で立ち、自立（自律）し、沖縄が秘めている可能性を最大限に発揮することで沖縄の発展のみならず、日本全体の発展に大きく寄与できると確信しております。

さて、国会では、政治と金の問題が議論されております。

国民は、所得が思うように上らず、物価は高騰し、昨年から始まったインボイス制度でめ細かく税を徴収される中、国会議員は、やりたい放題というのが国民・県民の率直な実感だと思います。

ちなみに、賞与を含む国会議員の歳費は、年間2187万円が基本ペースでそれ以外に調査・研究・広報・滞在費1200万円（月額100万×12カ月）が支給されており、領収書による清算は必要ありません。

国会議員の数も過剰と思っている国民・県民は大勢だと思います。

日本維新の会は、国民ニーズを常に意識し、国会においては、国会議員定数三割削減、国会議員報酬三割削減を公約として身を切る改革を推進しています。

さらに、人財への投資を掲げ、大阪府では教育費の無償化等が実現しています。

私は、所得が全国最下位、子どもの貧困率が全国の約2倍である沖縄でこそ教育費の無償化が必要だと考えております。

さらに、日本維新の会は、企業や団体から献金を禁止しており、昨今の政治と金の問題に真正面から取り組んでいる政党であります。

私の拠って立つ地区では、企業や経済界の後ろ盾を持つ自民党とオール沖縄の革新系勢力や組合の後ろ盾を持つ社民党の現職国会議員があり、大変厳しい戦いを強いられる状況でございます。

私は、日本維新の会の所属ですが、沖縄では日本維新の会は、まだ県民に浸透しているとは言えません。大きな組織の後ろ盾も十分な資金もございませんが、未来の沖縄を担う子どもたちのために、市民主体の手づくりの活動で取り組み、企業や団体等のしがらみが無い、県民・国民目線の政治を全う致します。

選挙において当選することは、大切なことですが、当選さえすれば良いとは思えません。

当選をして託された議席で何を成し遂げるかが大事だと思っております。

現在の沖縄の政治は、残念ながら、沖縄のさまざまな課題を解決できておりません。私は、復帰50年を経て次の100年に向けて結果を出すことにこだわる責任ある政治を貫いていく決意です。

私赤嶺ノボルは、馴れ合いで政治を致しません。馴れ合いで政治家を誕生させることは、究極の税金の無駄遣いだと思っております。

皆様にご賛同頂き、共に沖縄・日本の未来と発展のためにご協力を頂けるのをしたため、私赤嶺ノボルの政治活動に對しまして厳しい眼で見守って頂きますようお願い申し上げます。

皆様の益々のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、私の決意と致します。

赤嶺ノボルの主要政策

身を切る改革 (徹底した透明化)

- 1 国会議員報酬3割カット
- 2 国会議員定数3割カット
- 3 企業からの献金禁止
- 4 組合等からの献金禁止
- 5 旧文書交通費の領収書公開、不使用時は返金

人財への投資

- 1 沖縄の教育費の無償化
- 2 子ども・子育てへの徹底投資
- 3 若者への投資と有効活用
- 4 高齢者人財の有効活用
- 5 女性人財の有効活用と格差解消

統治機構改革

- 1 中央集権の限界を突破する統治機構改革
- 2 沖縄県を単独自治州
- 3 道州制の推進

成長戦略

- 1 日本大改革に向けた税制改革
- 2 消費税減税
- 3 社会保障制度改革・規制改革

皆様の積極的なご提言をお待ち致しております。又、行政相談等お困りのときは、お気軽にご連絡下さい。こちらからお伺いさせていただきます。（内部資料）



TikTok



LINE



FACEBOOK



YouTube



Instagram



X



HP



赤嶺ノボル
直通連絡先

事務所
〒901-2114
沖縄県浦添市安波3丁目5番2号
TEL・FAX 098-875-3374

携帯 090-2586-4722
MAIL noborunoboru777@yahoo.co.jp

沖縄県議会議長 赤嶺昇 令和5年沖縄全戦没者追悼式 式辞

令和5年6月23日

本日ここに、岸田文雄内閣総理大臣をはじめ、衆参両院議長、御来賓の御臨席と、御遺族の御参列を賜り、全ての犠牲者の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げますとともに、御遺族の皆様へ心から哀惜の意を表します。

太平洋戦争末期、ここ沖縄の地では一般住民を巻き込んだ凄惨な地上戦が行われました。鉄の暴風と呼ばれた激しい空襲や艦砲射撃は、昼夜を問わず雨のように降り注ぎ、逃げ惑う民を襲い、戦闘地域と住民が身を隠す避難地域の区別はなくなりました。沖縄戦の実相は、人間の愚さの極致と言われ、今、語り継ぐことの難しさに直面しています。

戦場に駆り出された沖縄の若者たちは、自らが授かった教育を信じ、明るく朗らかな日常にすぐに戻ることができることを疑わず、沖縄戦に組み込まれていく日々を過ごしました。このような混乱の中で、自らに課された義務を成し遂げるため、個々には何の怨恨もなき国家間の戦争の犠牲となり、尊い命が失われたことは、人類最大の不幸であります。

78年前の今日、沖縄戦は組織的な戦いを終えたとされ、この地に残された人々は、27年に及ぶアメリカ世、そして昨年50周年を迎えた本土復帰を経た時代を生き抜くこととなります。歌と踊りをこよなく愛する琉球文化からは華々しさが消え、焦土と化した島を歩く人々の表情からは生気が消えました。人間が人間でなくなる世界を体験した生き残りとして、あらゆる心身の病に耐え、支え合いながら、まだ見ぬ沖縄の未来を懸命に育んでいきました。

この季節に降る雨は、沖縄の青く美しい海と色鮮やかな草花にとって重要な恵みです。平和な時も、争いの時も等しく降り注ぐその雨は、そこに生きる人々の記憶となります。

雨が降ると電話が鳴る。

今日は、雨が降っているね。

沖縄戦の生存者は、雨が降ると当時を思い出し、自分が生き残ったことの意味に思いを致し、心を寄せる語り部に語りかけます。

同時に、恵みの雨は、変わり果てた大地を再生するように、母の記憶を思い起こさせます。一本の芭蕉の木が布となり紙となるように、

沖縄の恵みから紡ぐものは、世界を照らす平和の光となることを自覚し、その土地に生きた人々の証を受け継いでいかなければなりません。

世界は今、ウクライナ戦争による核の脅威が駆け巡り、地上戦もまた同様に現実のものとなっている中で、凄惨な地上戦を生き延びた私たち沖縄県民は、同じことが世界で繰り返されることの悲劇を、誰よりも知っています。この混沌とした時代にあって、ここ沖縄の地から、戦争のない平和な時代を祈ることがまやかしにならぬように、慈愛の本質は智慧であることを自覚し、未来の子どもたちへ紡ぐ土地の記憶が光の霊となって世界平和を照らす道しるべとなるよう、この地に生かされている意味を自らに問い続けることが真の慰霊に繋がるものと思います。

結びに、本日、心ならずもこの式典に参列できなかった皆様の平和への想いと共に、改めて、戦争のない世界的な恒久平和の確立に力の限り尽くすことを、ここに固くお誓い申し上げ、式辞といたします。

恒久平和確立力尽くす

赤嶺昇議長は、この日、追悼式に参列し、式辞を述べた。赤嶺議長は、この日、追悼式に参列し、式辞を述べた。赤嶺議長は、この日、追悼式に参列し、式辞を述べた。

2023年6月24日 琉球新報

生かされる意味問う

赤嶺昇議長は、この日、追悼式に参列し、式辞を述べた。赤嶺議長は、この日、追悼式に参列し、式辞を述べた。赤嶺議長は、この日、追悼式に参列し、式辞を述べた。

2023年6月24日 沖縄タイムス

ハワイ沖縄フェスティバル

沖縄県議会議長として2023年9月2日
第41回ハワイ沖縄フェスティバルへ参加。
デービット・イク元ハワイ州知事、ジョシュ・グリーン現ハワイ州知事と
今後の沖縄とハワイの将来に向けて意見交換を致しました。



R5.9.2 デービット・イク元ハワイ州知事との意見交換会

ブラジル沖縄県人移民115周年記念式典

沖縄県議会議員海外派遣団長として2023年7月30日～8月14日、
沖縄県人移民115周年の節目を迎えたブラジルとアルゼンチンを訪問致しました。
私は、1967年にブラジルサンパウロで生まれました。
この度は、44年ぶりのブラジル訪問でブラジル移民の県系人に
感謝状を授与することができました。



祝 沖縄県人移民115周年記念式典
沖縄県議会議員派遣議員団
Okinawa Prefectural Assembly
2023年7月30日～8月14日

中国の呉江浩駐日大使へ中国海警局の艦船による石垣市尖閣諸島周辺で領海侵入と弾道ミサイルの問題で直接抗議致しました。

10月5日、中国の呉江浩駐日大使の議長表敬で面談をさせて頂きました。
沖縄と中国と今後の友好交流について大使から提案を頂きました。平和的な友好交流については、異論はなく、素晴らしいことだとお伝えしました。

一方で、中国海警局の艦船が石垣市の尖閣諸島周辺で領海侵入を繰り返している問題と中国が昨年8月の軍事演習で、波照間島周辺の日本のEEZ(排他的経済水域)に弾道ミサイルを撃ち込んだ問題に対して平和的な外交を求める「要望書」抗議文をお渡し致しました。弾道ミサイル発射に関しては「このような行動は偶発的な軍事衝突を生む」として、平和的な外交交渉の必要性を強調した。いずれも県議会でも同内容の決議が可決されています。

さらに、中国が尖閣諸島を自国領のように表示している新地図を公表した問題も取り上げ、口頭で抗議の意を伝え致しました。



